



ご意見・ご感想
お待ちしております

日本共産党
市会議員

とがし豊

発行・日本共産党京都左京地区委員会 事務所 ☎761-6341 自宅 ☎771-7847 ホームページ・ブログ⇒「とがし豊」で検索

岡崎公園の樹木、大量伐採の危機

2月17日にも、伐採に着手か。住民団体が抗議。

短信：夜帰宅すると、次女が「おとうちゃん、きたで！」と大喜び。次に長女登場。「お外の仕事終わったん？おうち仕事は残ってるの？」と聞いてきて「どっちも終わったよ」というと「やったー！」。長男はヨチヨチ歩いて最後に登場、ニコッ！

活動日誌

6日 敬老乗車証を守ろうデモに参加

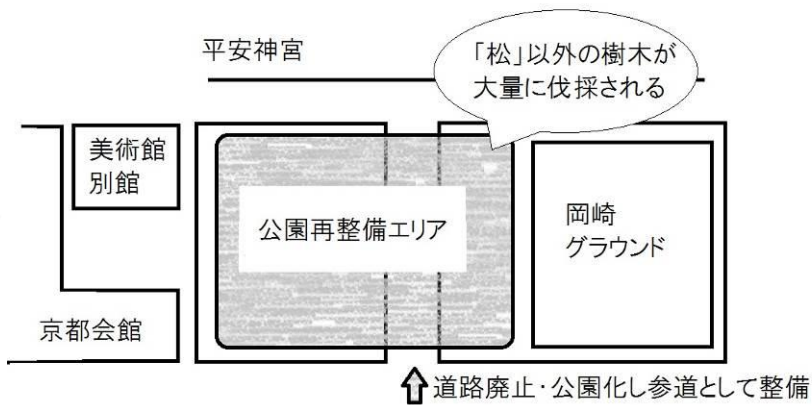


川端御池のひどい轍を改修



連載・がんばる消防団

浄楽分団の方によると、昨年も大文字山に、消防署の皆さんと一緒に救助に向かうということが多かったそうです。登山の時に気を付けるのはもちろんですが、いざという時にそなえて頑張る皆さんに、本当に感謝です。



京都市が岡崎公園の再整備工事にあたり、十七日から大量の樹木を伐採する計画が明らかになり、住民団体が樹木の保全と計画の全貌を示すよう求め、緊急要請を行いました。



(左)2 要請書提出の様子、(右)伐採予定の樹木

「桜」は現存三〇本、うち七本を移植、十七本を伐採し、残るのは六本。「しだれ桜」は現存七本、うち二本伐採し、残るのは五本。「もみじ」は現存二〇本、うち十六本を伐採し、残るのは四本。グラウンド付近も木が大量に伐採される計画です。京都市はこの再整備の前提となる「神宮道一部廃止条例」

の審議の際に「すべて伐採するわけではなく、公園部分の桜、もみじ、広葉樹、イチヨウ、ドングリがなる木などしつかり残り」と答弁していました。今回の計画は、市議会でも答弁に沿ったものとも到底考えられませぬ。一月二〇日に工事業者に、より、植栽工事を行うとの通知がされて今回の計画が明るみになりました。

【背景】市民のための「都市公園」から「国際観光・文化交流公園」への変質

市長は二〇一〇年、政府に提出した「総合特区提案」の中で、岡崎公園に関して「国際交流・文化観光公園として位置づけ、公園内や道路内に民間活力によるにぎわい施設の誘致」と大規模な再開発を打ち出しました。すでにこの「提案」

「京都・まちづくり市民会議」と「岡崎公園と疎水を考える会」が八日に行った現地調査、一〇日の京都市建設局みどり政策推進室を通しての市長への「岡崎公園内の樹木伐採に関する緊急の要望書」提出には、私も同行しました。大切な樹木を守るために力を尽くします。